

40/31年2月6日

三田市議会議長

様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会派名	無会派	代表者	印
		議員名	森本政直
派遣者氏名	森本政直		
視察先	1) 鹿児島県姶良市 2) 鹿児島県志布志市		
調査事項 (調査目的)	1) 移住支援の推進について 2) 空家等対策計画について		
日時	3/年2月4日(月) ~ 3/年2月5日(火)		
視察先対応者	1) 企画印 地域政策課 課長 原口浩典 " " " 地域政策係 安富拓正 " " " 地域政策係 指宿豊彦 2) 建設課 都市政策推進室 室長 富岡裕 " " " 推進監 奥倉勇司 " " " 都市計画係		
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課 地域政策係 係長 原 崇次 " " " 地域政策係 係長 中尾秀好 " " " 地域政策係 係長 田川 豊穂 <p>1) 移住支援の推進について 2) 空家等対策の取組概要一式</p>		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時

平成31年2月4日(月) 14時00分~15時30分

視察先

鹿児島県姪良市

調査事項

移住しやすい街推進について。

(調査結果の概要及び所見)

<概要>

- 鹿児島県内4市と連携して移住推進を行っている。
<鹿児島市・いち串不列市・日置市・姪良市>
- 平成22年合併後、総合計画における総合戦略において、「都市のまんなか」「たけのこ町のまんなか」「子育てのまんなか」「住む町のまんなか」と目録において、実際市政誕生以来、人口増加は下り特に平成27年以降急増している。
- その取組み施策としては条例資料P22~P45にある。特に効果があるのは、<ふるさと移住促進条例、空き家17年条例、定住促進住宅建設条例>である。
- しかし、中心市街地の人口増加は長年の中山内地区への移住による状態である。

<所見>

- 本市は立地条件(鹿児島市に隣接、地価は1/2、自然環境あり)の良から鹿児島県内唯一人口増加の街となり転入者も増加している。移住、鹿児島市への移住も目立っている。
- 中山内地区への移住促進策では、市外だけでなく市内からも認知され最大310万の補助となっている。又、中山内地区には都市計画画も無指定となっている。市営の定住促進住宅も建設している。
- 上記の目録に施策がない。最大の要因は立地条件によるものと思われる。

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時

平成31年2月5日(火) 10時00分~11時30分

視察先

鹿児島県志布志市

調査事項

空家等対策計画について

(調査結果の概要及び所見)

<概要>

- 平成22年 危険度低解体撤去補助事業開始 <上限30万円>
- 平成27年 エルビー人材センターに委託し空家の調査実施 <H29~31年>
- 平成28年 空家リノベーション補助事業開始 <上限50万円>
- 平成29年 空家等対策計画を策定

<所見>

- 資料2にあるとおり 当市の空家率は16.34%と非常に高く、
又、農村部にある空家等は近隣に迷惑がかかるケースが多いため、市街地等に志布志町内において特定空家として取り扱う
物件が多くみられた。
- 解体補助事業も平均100万を超過し、次年度繰越ケースの発生は増加傾向 <市単事業>
- 当市においても人口減少、高齢化の進み、併せて志布志町
において津波や地震といった自然災害も発生していることから、後継リノベーション
促進策の推進を図りたい。
- エルビーに委託し空家の現地確認、その状況の分類と実施に
お任せ、(年間150万程度、3年以内)の情報収集は指導している
ことである。
- 志布志市においても今後空家の増加は続くことが見られ、空家
バンク、古民家再生等、積極的に活用していくためには、当市のFラン
状況に付いたりと見られる。

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

状況に付いたりと見られる。

歓 迎

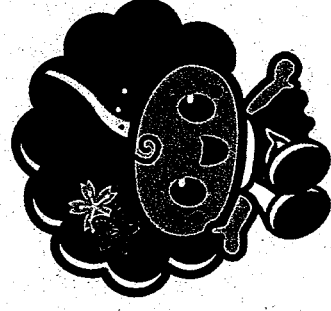
三田市議会議員の

皆さま

ようこそ

始良市へ

平成31年2月4日(月)



志布志市の空き家対策について

志布志市建設課
都市政策推進室
平成31年2月